

2024年11月19日

各位

会社名 株式会社フレクト
代表者名 代表取締役CEO 黒川 幸治
(コード番号: 4414 東証グロース)

フレクト、慶應義塾大学「K-Support」の開発を支援 ～Salesforce Education Data Architecture を活用し生産性向上を実現～

株式会社フレクト（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 黒川幸治、以下フレクト）は、学校法人慶應義塾（本校：東京都港区、塾長 伊藤公平、以下慶應義塾）における「K-Support」の開発支援を行いました。

慶應義塾は小学校から大学・大学院を擁する、日本で最も長い歴史を持つ総合学塾のひとつです。慶應義塾では、長年使用していた教職員向けの「教育支援システム」や学生向けのポータルサイトに課題を持っており、この度 Salesforce Education Data Architecture（以下、EDA）で開発を行い、「K-Support」としてシステムを刷新しました。



Salesforce Education Data Architecture

柔軟なカスタマイズとスケーラビリティで教育機関の運営を強化し、新たな体験の向上を実現する強力なツール

「試験形態入力」「採点入力」「シラバス入力」「出講希望入力」「学生ポータル」の開発を支援

EDA は、Salesforce が提供する教育機関向けに設計されたデータアーキテクチャです。業界特有のオブジェクトが標準機能として CRM プラットフォーム上に直接構築されており、教育機関にとって必要なデータモデルのスムーズな構築を可能にし、CRM の可能性を広げるものです。

開発ポイント

① 複数のキャンパス、学部・研究科に対応した柔軟なシステム設計

従来の「教育支援システム」は、複数のキャンパス、学部・研究科の要件に対応するため仕様が複雑化していました。フレクトは慶應義塾とともに要件定義を進め、EDA のデータモデル・機能を理解

し、要件に適したオブジェクトを選定し、開発を進めました。フレクトと慶應義塾がワンチームで開発を進めたことで、機能性に優れつつ要件の変更にも柔軟に対応できるシステム設計を実現しました。

② ローコードで変更を簡単に

Salesforce EDA の標準機能を駆使した開発を目指しました。その上で、慶應義塾の文化に沿った業務や所属やリレーションなどはカスタムオブジェクトを使用し実装しました。これにより品質が高く、またアジリティの高い開発が可能となりました。標準機能にこだわったことで仕様変更が簡単にでき、結果、ローコストで運用が可能となります。

③ お客様と共に受け入れテストを実施

今回慶應義塾と共にテストおよび受け入れテストを行いました。これにより、十分な期間を確保しながら、品質を向上させリリースすることを可能としました。また、共にテストを行うことで開発したシステムの理解が深まり、スムーズな運用を実現しました。

「試験形態入力」「採点入力」からシステムの刷新を行いリリースしたのち、「シラバス入力」や「出講希望入力」「学生ポータル」の開発を支援しました。

学生ポータルサイトでは、EDA の基盤を活かして、Experience Cloud で開発を行うことでシームレスな体験の提供を可能としました。

フレクトは現在も保守や機能強化の開発支援を継続しています。今後も慶應義塾の更なる効率化、システムの内製化に向けた基盤作りを引き続き支援してまいります。

※製品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

【IR に関するお問い合わせ】

Mail:ir@flect.co.jp

【IR 情報】

IR メール配信の登録：<https://www.flect.co.jp/ir/support/mail/>

IR 情報-TOP：<https://www.flect.co.jp/ir/>

IR 情報-よくある質問：<https://www.flect.co.jp/ir/investor/faq/>

IR 情報-用語集：<https://www.flect.co.jp/ir/investor/glossary/>